

(小切手)

<任意的記載事項>

- ・受取人の記載
- ・第三者方払
- ・その他

<有害的記載事項>

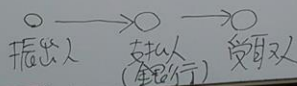
- ・支払条件などを記載

<必要記載事項>

必ず記載

<時効>

- 呈示期間経過後 6ヶ月
- ただし、呈示期間を過ぎても払われるが、呈示期間に請求(呈示)していなければ、正規の取引と見なされない

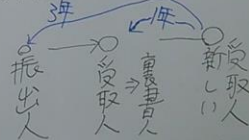


手形の時効

所持有人(受取人)が請求できるのは、満期から 3年間

・裏書人に対しては満期から 1年間

手形の流れ



(売買による仕入)

買取仕入

売上仕入 (売掛分) (消込仕入) 仕入

(委託販売による仕入)

委託仕入 (販売手数料)

X-カーの指値価格 ※指値を切る時は販売者負担

下請代金支払遅延防止法

下請法

- ・書面による契約
- ・60日以内の支払

義務 対

<10の関連法>

- ・製造物責任法(PL法)
- ・食品安全基本法
- ・消費者契約法
- ・計量法
- ・JAS法
- ・独占禁止法

<信義則>

- ・信義に従い
- ・誠実に

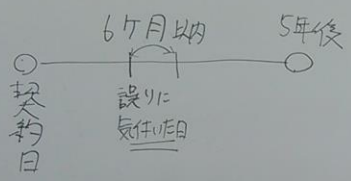
<公序良俗>

- ・公の秩序
- (社会の一般利益)

<誰とでも契約>

契約の原則

○ 現約の取消(取消権の行使)



○ 請負契約とは
約束通り完成した
仕事への報酬

かしの
瑕疵とは
不良(キズ・欠陥)

○ 保証責任とは
保証書の発行という
形式で成立した責任
(契約責任とは別)

< 割賦販売法 >

○ 販売者と消費者の
二者間契約のことで
*クレジット会社が
間に入ることで
「信用購入あっせん」

まちづくり
3法

- 都市計画法 (国土交通省)
- 中心市街地活性化法 (経済産業省・国土交通省・総務省)
- 大規模小売店舗立地法 (経済産業省)

- キャッシュフロー分析とは
現金の流れ増減を見る
営業キャッシュフロー
投資
財務
- 企業価値分析とは
理論株価の算出、企業買収のための価格
(M&A) のもと
- 損益分岐点分析
利益体質がどうかを見る

貸借対照表 (BS) / 11月25日

資産部 負債・資本部

流動資産	負債
固定資産	自己資本
お金の使い道	お金

問題 1 P254

仕入	売上
期首	期末
10月	11月

- ① 売上原価計算
- $$\text{期首棚卸高} + \text{仕入} - \text{期末棚卸高} = \text{売上原価}$$
- $$3,500 + 12,500 - 2,500 = 13,500$$
- $$\text{売上} - \text{売上原価} =$$
- $$35,000 - 13,500 = 21,500$$
- ② 売上総利益 - 販売費及び一般管理費 = 営業利益
- $$21,500 - 10,150 = 11,350$$
- ③ 営業利益 + 営業外収益 - 営業外費用 = 経常利益
- $$11,350 + 550 - 1,500 = 10,400$$
- ④ 経常利益 + 特別利益 - 特別損失 = 税引前当期純利益
- $$10,400 + 350 - 1,250 = 9,500$$
- ⑤ 税引前当期純利益 - 法人税 = 当期純利益
- $$9,500 - 4,500 = 5,000$$